令和７年度　高松市病院事業会計決算見込みの概要

病院局

TKMT高松

１．令和７年度決算の概要

（１）前年度比較

決　算	令和７年度　A	令和６年度　B	前年度比較　A - B	
			増　減	増減比率
決　算　規　模（税込）	121.4 億円	119.4 億円	2.0 億円	1.6 %
みんなの病院	116.5 億円	114.4 億円	2.0 億円	1.8 %
塩江分院	5.0 億円	5.0 億円	▲ 0.1 億円	▲ 1.6 %
経　常　収　支（税抜）	▲ 10.8 億円	▲ 7.7 億円	▲ 3.1 億円	▲ 40.3 %
みんなの病院	▲ 10.7 億円	▲ 7.7 億円	▲ 3.0 億円	▲ 38.6 %
塩江分院	▲ 0.1 億円	0.0 億円	▲ 0.1 億円	▲ 282.2 %

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

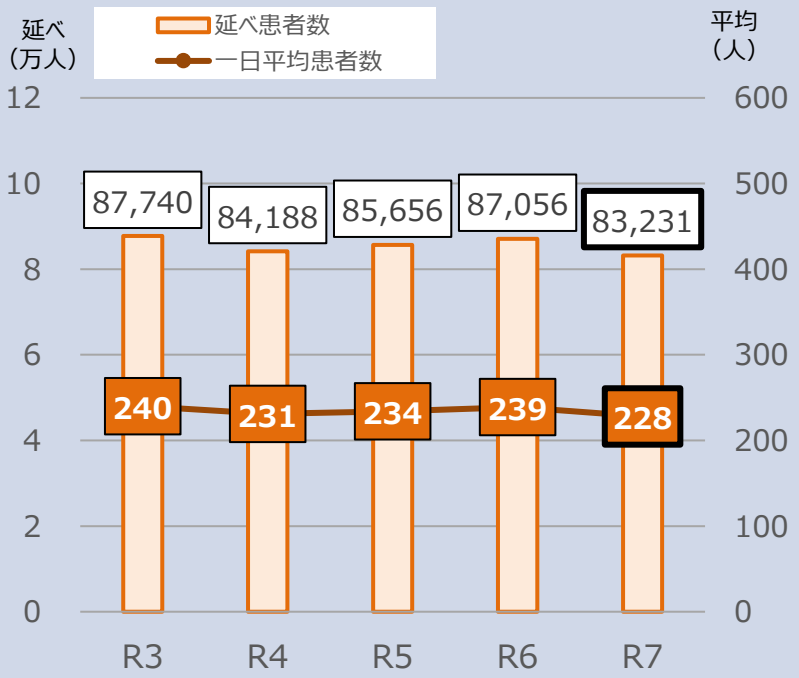
（２）決算のポイント

- **決算規模**（収益的支出及び資本的支出の合計）は、人件費や物価高騰に伴う経費の増加、企業債償還金の増加などから、**２.０億円の増**
- みんなの病院の**経常収支**は賃上げ・物価上昇などに対する国・県補助金が増加したものの、入院収益が減少したことや、給与改定による人件費の増加、物価高騰に伴う経費の増加などにより６年度に比べ**３.０億円悪化し、１０.７億円の赤字**
- みんなの病院の**入院・外来収益**は、入院・外来とも診療単価が上昇した一方、患者数が減少したことから、６年度に比べ、**０.６億円減の６９.９億円**（▲０.９％）
- **一般会計繰入金１９.０億円**（＋３.２％）は、救急医療の確保に要する経費及び建設改良に要する経費の増などに伴い**０.６億円の増加**
- **現金・預金残高**は、６年度比**６.１億円減の３０.９億円（譲渡性預金を含む）**
- 塩江分院に代わる**新たな医療施設の整備**については、隣接する**塩江地域保健活動センターを全面改修し再活用する**方針とした。

２．業務の状況①（患者数）

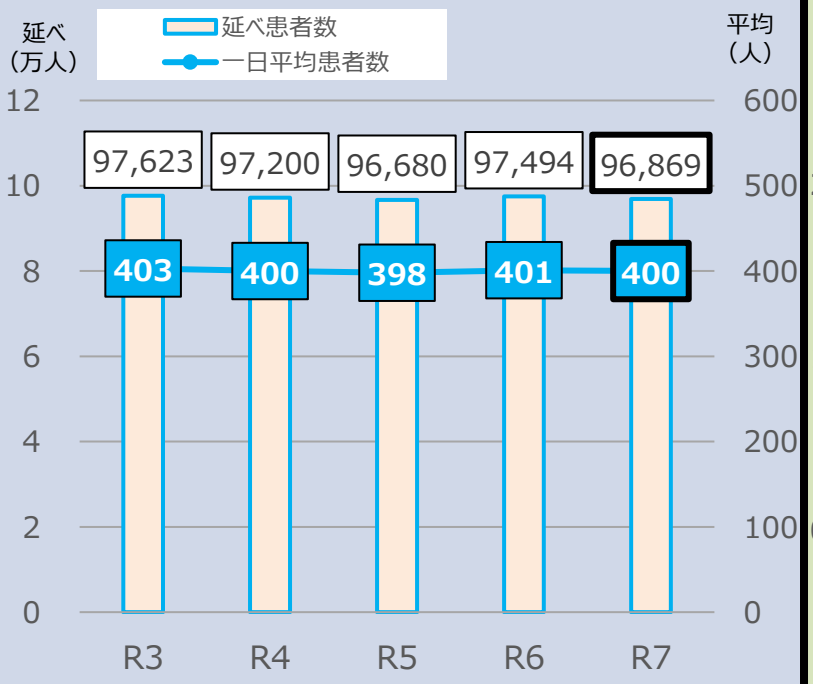
みんなの病院

入　院



整形外科や泌尿器科の患者数は増加したものの、呼吸器内科の患者数が減少したことなどから、延べ入院患者数は、４．４％減少した。

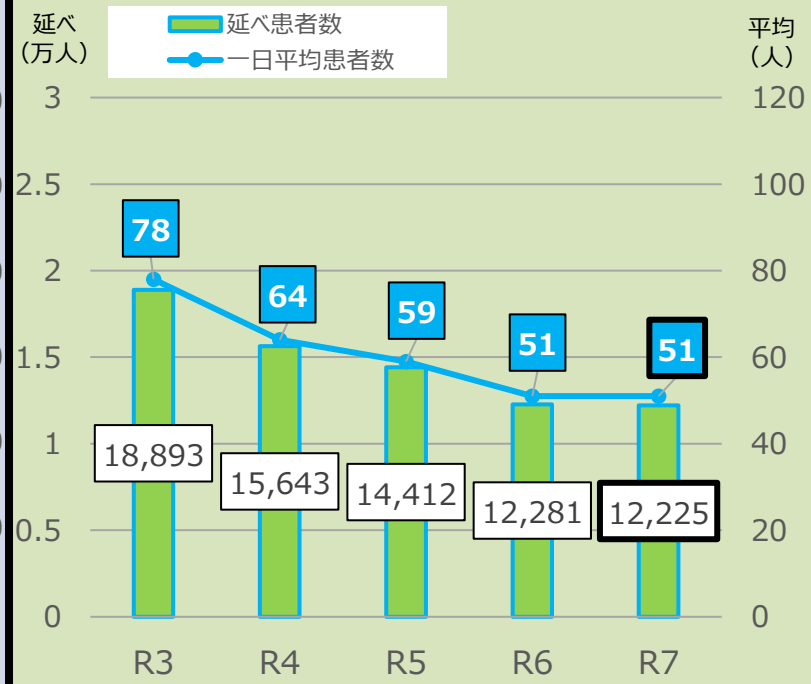
外　来



泌尿器科や耳鼻咽喉科の患者数は増加したものの、呼吸器内科の患者数が減少したことなどから、０．６％減少した。

塩江分院

外　来

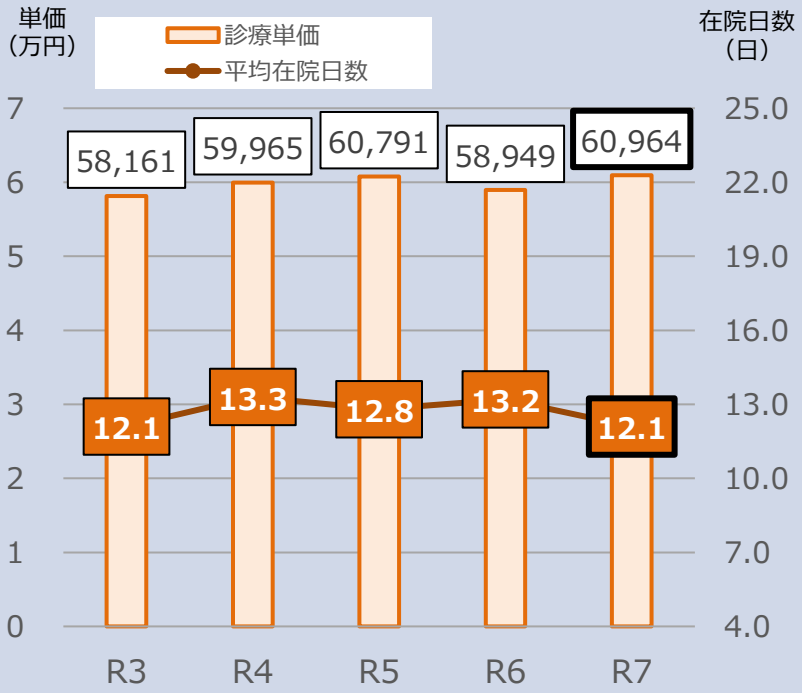


人口減少など複合的な要因があり、０．５％減少した。

２．業務の状況②（診療単価）（税抜）

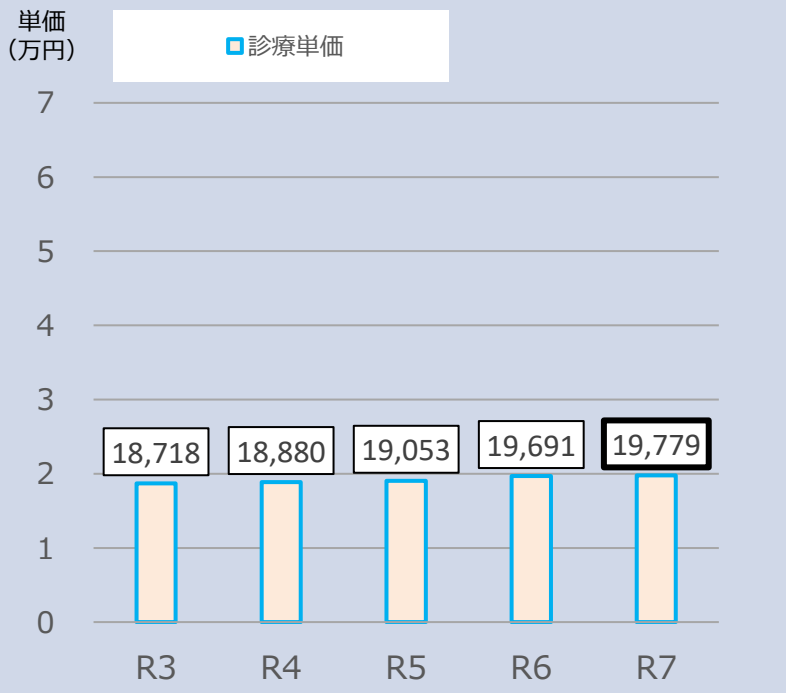
みんなの病院

入　院



平均在院日数の短縮などに伴い、入院単価が３．４％上昇した。

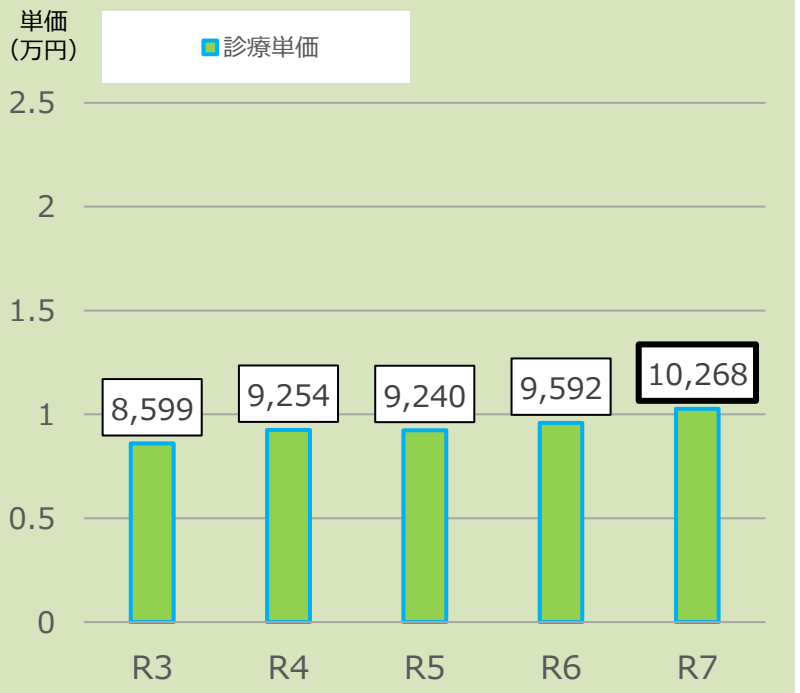
外　来



乳がん等のがん治療に係る高額化学療法注射の増加などにより、外来単価が０．４％上昇した。

塩江分院

外　来

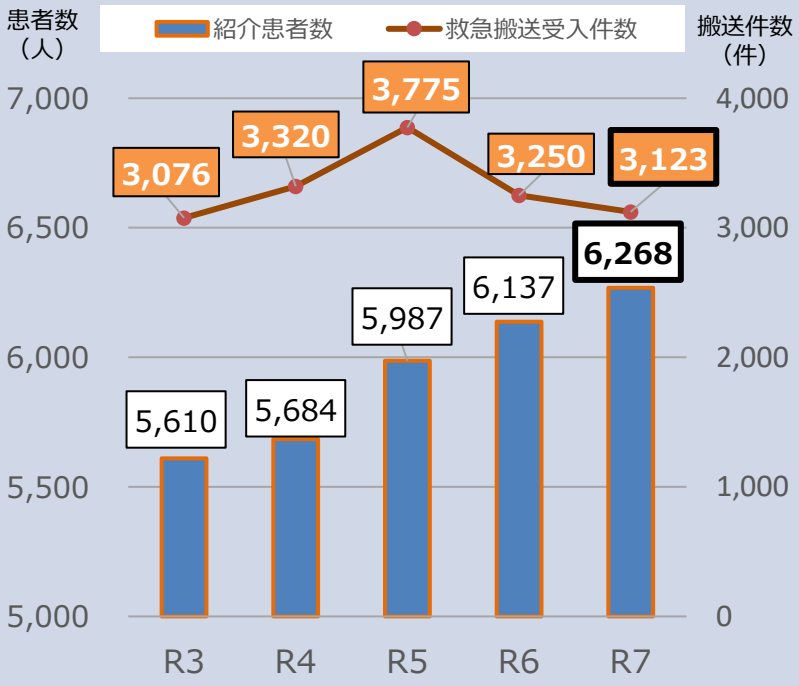


生活習慣病を主病とする患者に、療養計画に基づく総合的な治療管理を積極的に実施したことなどにより、外来単価が７.0%上昇した。

２．業務の状況③（各種対応件数）

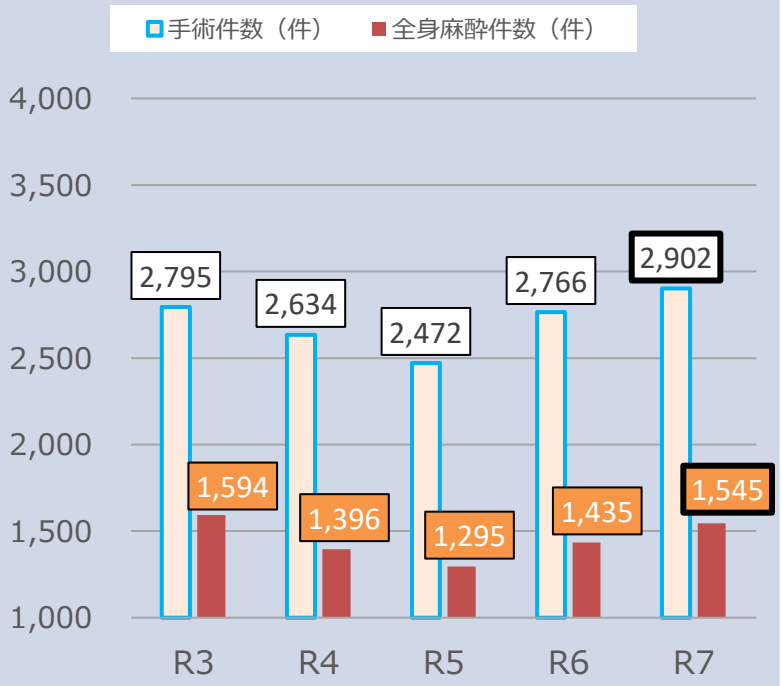
みんなの病院

紹介患者数　救急搬送受入件数



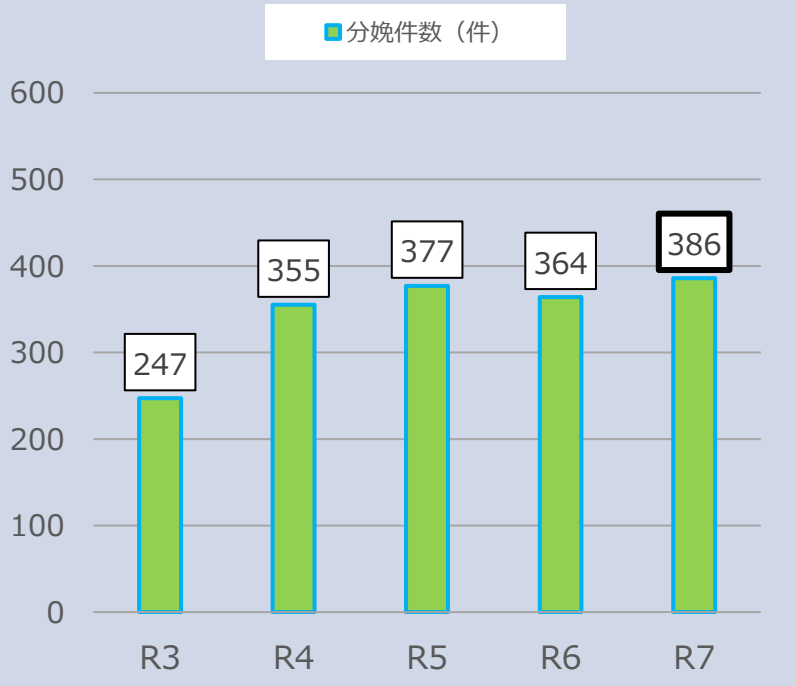
診療科ごとに受入れ目標を設定し、患者数増加に向けて取り組んだところ、紹介患者数は、前年度を上回るとともに、救急搬送受入件数は3,000件以上の受け入れを継続した。

手術件数　全身麻酔件数



地域の医療機関へ訪問を行い、紹介患者の増加に取り組んだことなどにより、手術件数・全身麻酔件数が共に前年度を上回った。

分娩件数



前年度から22件増加した。また、７年度から産後ケア事業を開始した。

３． 収益的収入及び支出（税抜き）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区 分	R7	R6	前年度増減比較 金額	前年度増減比較 率	主な増減理由等
収益（みんなの病院）	9,257	9,258	▲ 1	▲ 0.0%	R6の収益を維持
医業収益	7,722	7,763	▲ 41	▲ 0.5%	
うち入院収益	5,074	5,132	▲ 58	▲ 1.1%	延べ患者数 87,056人 → 83,231人　診療単価 58,949円 → 60,964円
うち外来収益	1,916	1,920	▲ 4	▲ 0.2%	延べ患者数 97,494人 → 96,869人　診療単価 19,691円 → 19,779円
うち一般会計繰入金	400	379	22	5.8%	救急医療の確保に要する経費 ＋ 21,775千円
医業外収益	1,465	1,447	18	1.2%	賃上げ･物価上昇に対する支援事業補助金 ＋ 149,475千円、寄附金 ▲ 101,000千円、長期前受金戻入 ▲ 72,933千円
うち一般会計繰入金	751	726	25	3.4%	高度医療に要する経費 ＋ 11,960千円、児童手当に要する経費 ＋ 9,996千円、医師の派遣を受けることに要する経費 ▲ 8,303千円
特別利益	71	49	22	44.9%	過年度分長期前受金戻入 ＋ 11,590千円、過年度損益修正益 ＋ 7,019千円
費用（みんなの病院）	10,307	10,025	282	2.8%	
医業費用	9,857	9,589	267	2.8%	
うち給与費	5,216	4,853	363	7.5%	退職給付引当金繰入額 ＋ 185,931千円、給与改定等
うち材料費	1,872	1,912	▲ 40	▲ 2.1%	薬品費 ▲ 63,652千円、診療材料費 ＋ 25,978千円
うち経費	1,585	1,540	45	2.9%	委託料 ＋ 96,386千円、貸倒引当金繰入額 ▲ 46,979千円、光熱水費 ▲ 10,929千円
医業外費用	400	393	7	1.9%	雑損失 ＋ 4,179千円、支払利息及び企業債取扱諸費 ＋ 3,308千円
特別損失	50	43	7	16.9%	旧香川診療所解体 ＋ 13,586千円、旧高松市民病院解体 ▲ 6,112千円
当年度純損益	▲ 1,050	▲ 766	▲ 284	▲ 37.0%	
経常損益（特利･特損を除く）	**▲ 1,070**	**▲ 772**	**▲ 298**	**▲ 38.6%**	

３． 収益的収入及び支出（税抜き）

（２）塩江分院

単位：百万円

区 分	R7	R6	前年度増減比較 金額	前年度増減比較 率	主な増減理由等
収益（塩江分院）	518	394	125	31.6%	
医業収益	130	123	7	6.0%	
うち外来収益	126	118	8	6.6%	延べ患者数 12,281人 → 12,225人　診療単価 9,592円 → 10,268円
医業外収益	251	256	▲ 5	▲ 2.0%	賃上げ･物価上昇に対する支援事業＋ 18,065千円
うち一般会計繰入金	227	249	▲ 22	▲ 8.9%	不採算地区病院の運営に要する経費 ▲ 22,646千円 リハビリテーション医療に要する経費 ＋ 1,417千円
附帯事業収益	14	15	▲ 1	▲ 8.1%	訪問看護利用者 1,785人 → 1,667人（▲118人）
特別利益	124	0	123	56,467.3%	病床機能再編支援事業給付金 ＋ 123,120千円
費用（塩江分院）	405	495	▲ 90	▲ 18.2%	
医業費用	370	355	15	4.2%	
うち給与費	244	228	16	6.9%	給与 ＋ 760千円、退職給付引当金繰入額 ＋ 14,843千円
うち材料費	48	45	3	6.3%	薬品費 ＋ 2,460千円、診療材料費 ＋ 560千円
うち経費	63	67	▲ 3	▲ 5.0%	修繕費 ▲ 5,745千円、賃借料 ＋ 2,154千円、委託料 ＋ 1,918千円
医業外費用	10	11	▲ 1	▲ 7.0%	企業債利息及び企業性取扱諸費 ▲ 750千円
附帯事業費用	22	24	▲ 2	▲ 7.3%	給与費 ▲ 1,889千円
特別損失	3	106	▲ 103	▲ 97.0%	（R6年度附属医療施設の建設地変更に伴う損失 105,391千円を執行）
当年度純損益	113	▲ 102	215	211.2%	
経常損益（特利･特損を除く）	**▲ 7**	**4**	**▲ 11**	**▲ 282.2%**	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R7	R6	前年度増減比較		主な増減理由等
			金額	率	
収入（みんなの病院）	863	981	▲ 117	▲ 12.0%	
企業債	342	512	▲ 169	▲ 33.1%	医療備品購入費の減少（R7年度は生理検査及び臨床情報システム、内視鏡情報管理システムなどを購入）
負担金交付金	499	462	37	8.0%	企業債償還等に対する一般会計負担金の増加 ＋ 33,137千円
補助金	22	0	22	皆増	県補助金（屋外倉庫、遺伝子解析装置、勤怠管理システム） 22,063千円
固定資産売却代金	0	7	▲ 7	皆減	（R6年度全身用X線CT装置の売却代金 7,004千円）
支出（みんなの病院）	1,317	1,395	▲ 78	▲ 5.6%	
建設改良費	375	517	▲ 142	▲ 27.5%	
資産購入費	363	517	▲ 154	▲ 29.8%	医療備品購入費の減少 ▲ 157,922千円（R7年度は生理検査及び臨床情報システム 109,780千円、内視鏡情報管理システム 69,300千円 などを購入） 管理備品購入費の増加 ＋ 3,663千円（勤怠管理システム 3,234千円など）
病院施設費	12	0	12	皆増	屋外倉庫建設工事 11,935千円
貸付金	0	1	▲ 1	皆減	助産師修学資金貸付金 ▲ 1,100千円
企業債償還金	804	738	66	8.9%	R1年度借入分（医療備品）の償還終了に伴う減 ▲ 5,225千円、R5年度借入分（手術用顕微鏡及びナビゲーションシステムなど）の償還開始に伴う増 ＋ 67,894千円
他会計借入金償還金	138	138	0	0.0%	
収支差引（補塡額）	▲ 454	▲ 414	▲ 40	▲ 9.6%	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（２）塩江分院

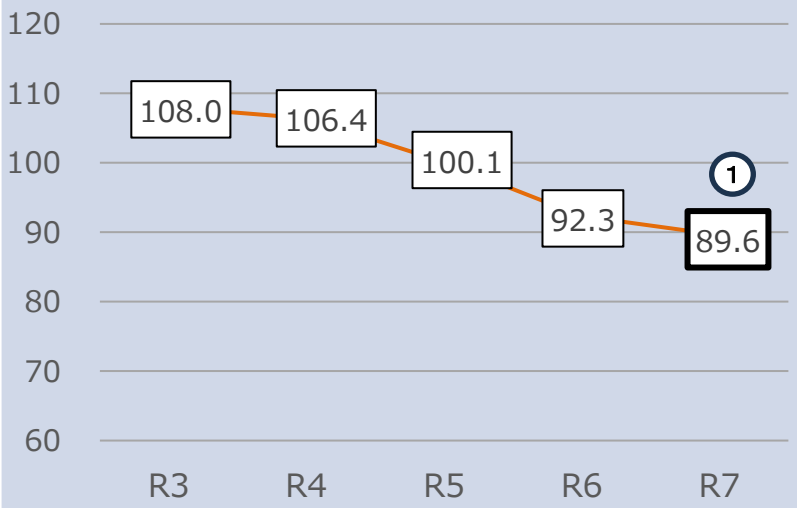
単位：百万円

区　分	R7	R6	前年度増減比較		主な増減理由等
			金額	率	
収入（塩江分院）	7	5	2	42.2%	
企業債	3	1	2	150.0%	
負担金交付金	1	4	▲ 2	▲ 62.1%	企業債償還に対する一般会計負担金の減少 ▲ 2,237千円
補助金	3	0	3	皆増	県補助金（調剤支援システム等一式） 2,680千円
支出（塩江分院）	89	7	82	1,192.5%	
建設改良費	5	1	4	376.8%	
資産購入費	5	1	4	376.8%	調剤支援システム等一式 5,192千円
企業債償還金	84	6	78	1,346.0%	附属医療施設の建設地変更に伴う企業債強制繰上償還 81,300千円
収支差引（補塡額）	▲ 82	▲ 2	▲ 80	▲ 3,516.1%	

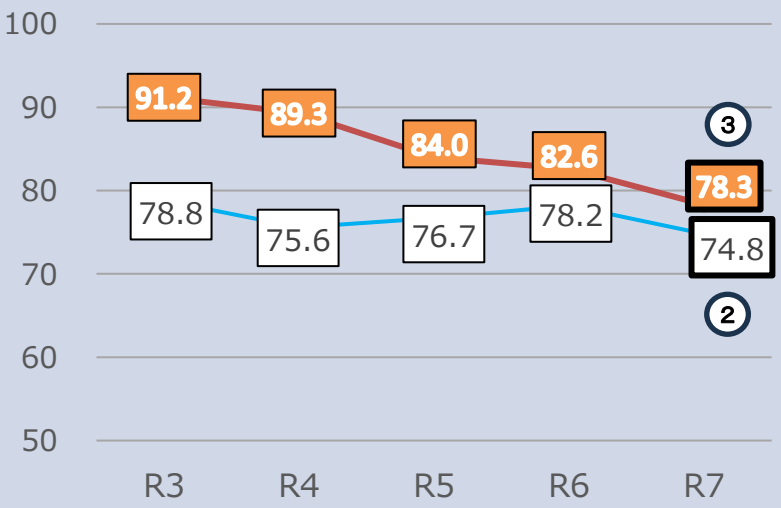
５．経営指標の推移

みんなの病院

①経常収支比率



②病床利用率　③病床利用率（地域包括ケア・感染・コロナ専用病床除く）

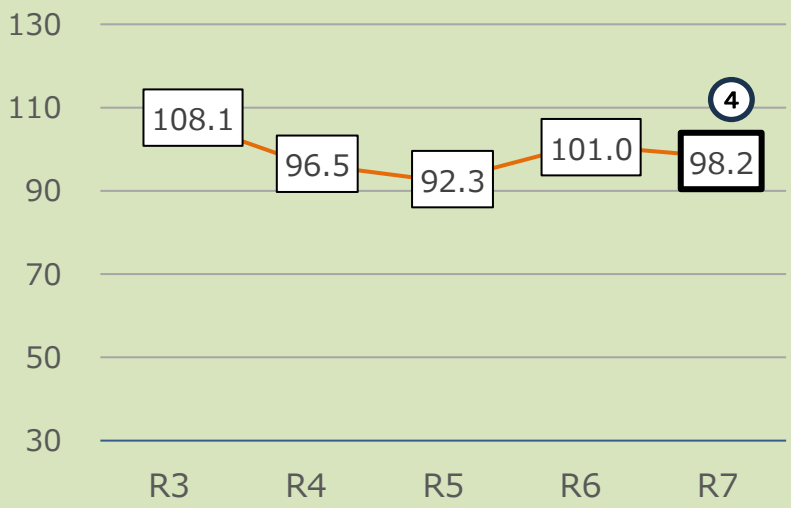


①経常収支比率は、入院患者数が減少したことや、物価高騰に伴う経費の増加及び人件費の高騰などにより、６年度に比べ２．７ポイント低下した。

患者数の減により、②③共に前年度よりも減少した。

塩江分院

④経常収支比率



④一般会計負担金の減少などにより、経常収支比率が前年度を下回った。

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度以前についても比較のため同様に医業費用に含む。

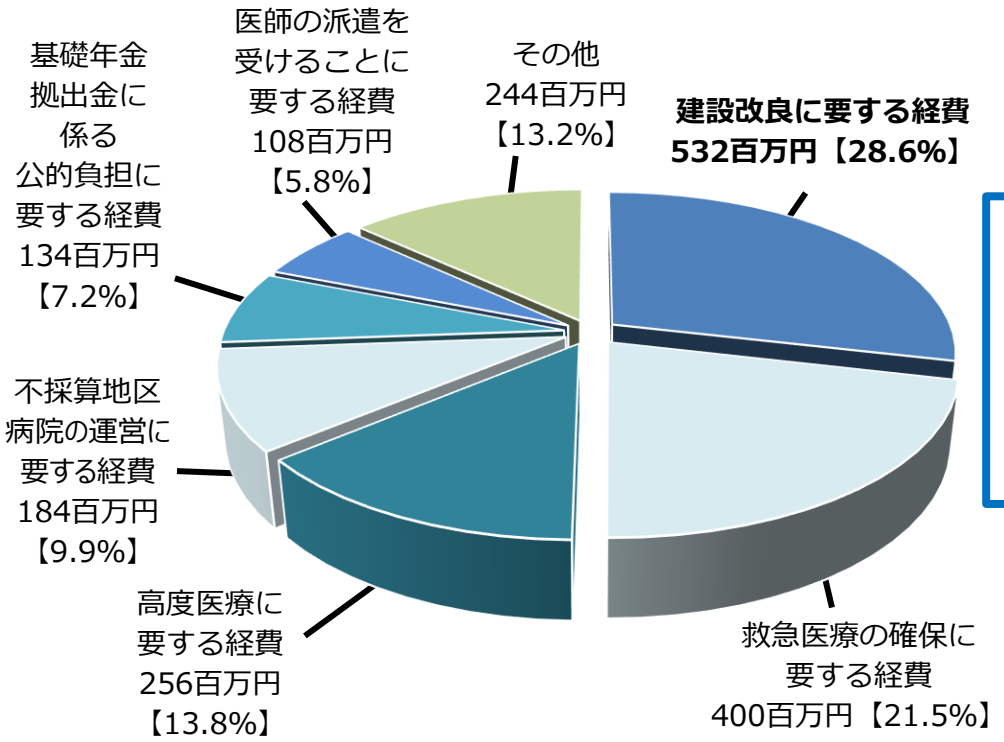
■経常収支比率とは　経営の健全性を示す指標。比率が高いほど健全であり、100%を超えると健全経営であることを意味します。

■病床利用率とは　病床がどれほどの割合で入院患者に利用されているかを示すもの。
なお、③は、地域包括ケア病床等（54床分）を除いた病床利用率。

６．一般会計から病院事業会計への繰入金

単位:百万円

決算	R７年度	R６年度	R５年度	R7-R6 増減	R８予算	備　　考
負担金	1,899	1,840	2,286	59	1,826	建設改良、救急医療、高度医療などに要する経費
繰出基準内	1,859	1,799	2,205	60	1,781	総務省通知
繰出基準外	40	41	81	▲ 1	45	地方交付税等措置対象外



基準内 繰入の内訳

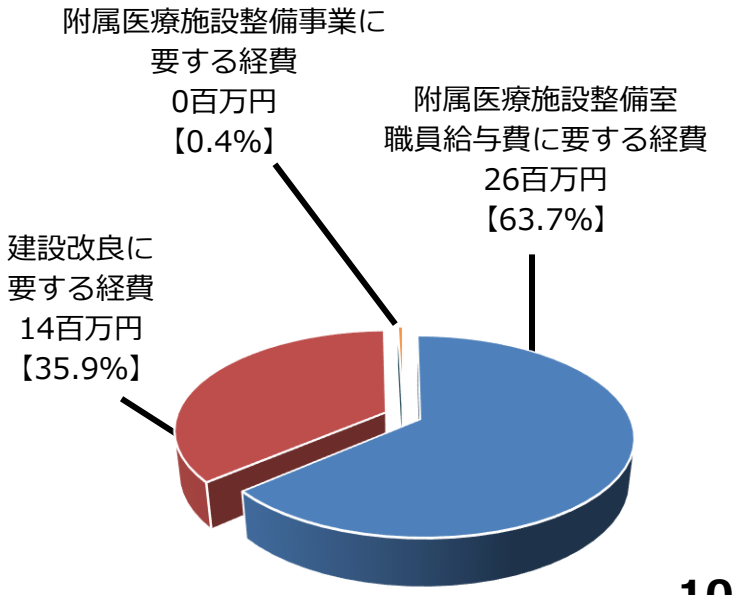
1,859百万円【97.9%】

（R6【97.8%】）

基準外 繰入の内訳

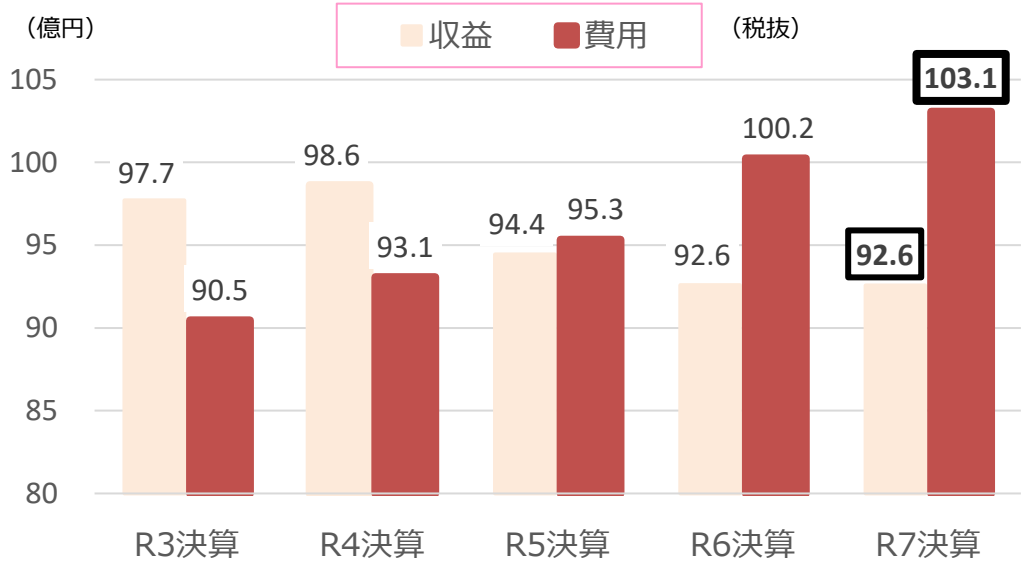
40百万円【2.1%】

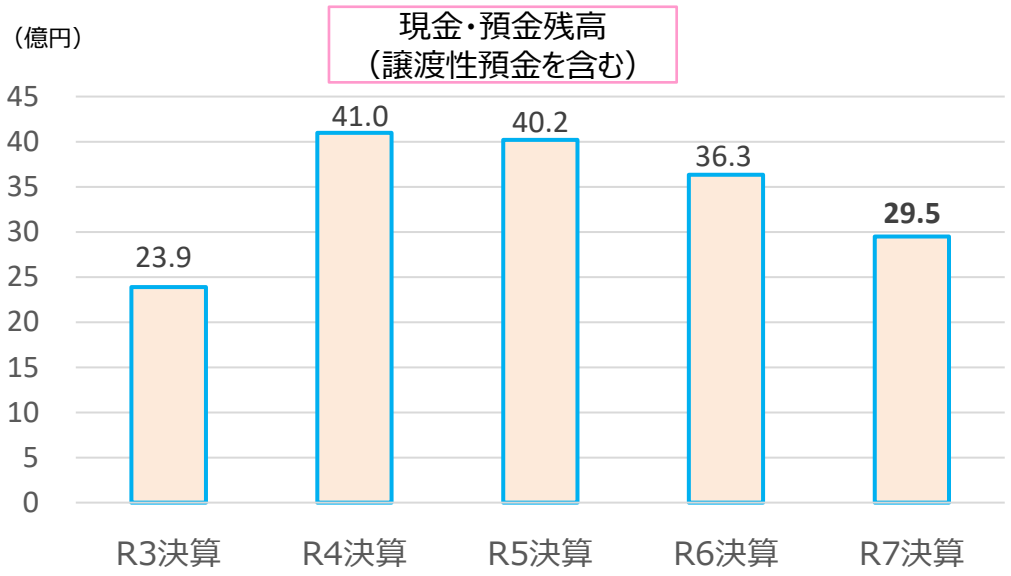
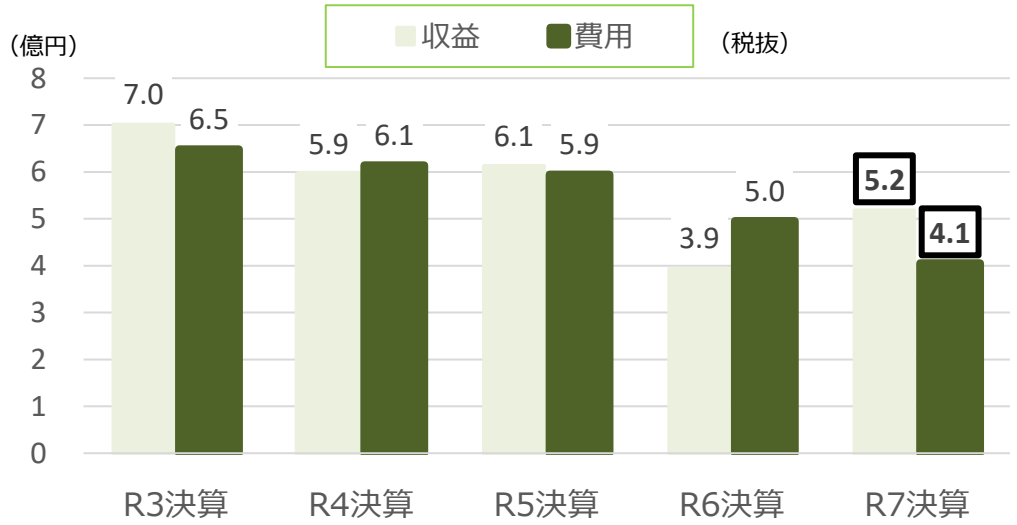
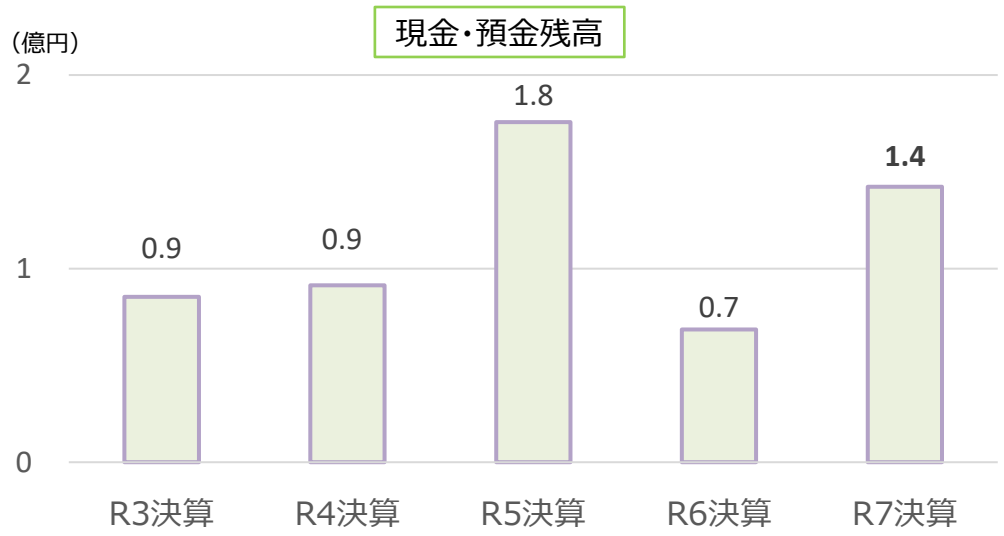
（R6【2.2%】）



7．病院事業収益・費用及び現金・預金残高の推移

みんなの病院





塩江分院